

平成30年11月 2日(金)

松工祭（1日目） 限界突破 ～ 起こせ革命の風 ～

11月2日、松工祭（1日目）が開催されました。

午前中は、第一体育館にて、松工祭開会行事、弁論大会、各種発表が行われました。開会行事では、内藤善文校長より「文化祭になると、気持ちが緩んでしまうこともあるが、楽しい中にも高校生であるということを忘れずに、ルールをしっかりと守って、けじめをつけた行動をとってください。今年度は110周年を迎える記念の来年度の松工祭のプレ開催ですので、それぞれの才能や素晴らしい経験を発表して、みんなで共有していきたいと思います。お互いに認め合って、尊敬し合えるような学校にしてください。」と挨拶を述べました。



松工祭開会行事

続いて、弁論大会が行われました。昭和46年に始まった松工伝統の「弁論大会」です。今年度で48回目となります。工業各科を代表して8名の弁士が、高校生活や部活動を通して学んだことや自分の進路について考えたことを発表し、熱弁を振るいました。審査の結果、情報電子科3年の厚朴里音さんの「声を届ける」が最優秀賞を受賞しました。

次に、各種発表が行われました。建築科3年の第16回民家の甲子園及び建築業への思い作文や、建築科2年の宮本晏似君による家庭クラブ研究発表大会「祖母はアスリート」、機械科3



弁論大会で最優秀賞受賞 厚朴さん



弁論大会で8名の弁士が奮闘

年の河井響生君による海外留学体験記「内側から見たアメリカ」の発表があり、午前の部を締めくくりました。

午後には、英語スキットパフォーマンスコンテストが行われました。昨年度に続き二度目の開催でした。今年度は各科で童話・おとぎ話などの有名な話をモチーフにしたSkitを作成し、英語で実演しました。どの科も様々な工夫を凝らし、聞き手の興味関心を惹きながらパフォーマンスを行いました。審査の結果、情報電子科2年の「Urashima Taro」が最優秀賞を受賞しました。また、コンテストでは、司会、表彰など全てが英語で進行され、生徒たちは普段に増して、集中して楽しみながら発表を聞いていました。



第16回民家の甲子園(建築科3年)



家庭クラブ研究発表大会「祖母はアスリート」 宮本君



海外留学体験記「内側から見たアメリカ」 河井君



英語スキットパフォーマンスコンテスト(情報電子科2年)